

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 30日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 〒289-1726	
住 所 千葉県山武郡横芝光町木戸10110	
氏 名 株式会社 畔蒜工務店	
代表取締役 畔蒜 義文	
電話番号 0479-84-1221	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 畔蒜工務店
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町木戸10110
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 52億円
③ 従業員数	91人(正社員 81人、常勤関係職員 10人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>建設作業 ——— 建設副産物 ——— 処理委託 (中間処理) (再資源化施設)</div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div><div>社長</div><div>工事部長</div><div>現場代理人</div></div> <div>処理計画統括責任者</div> <div>処理計画作成担当</div> <div>廃棄物担当</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排出量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排出量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一定量のある廃棄物（石膏ボード・木くず・紙くず・金属くず） については、分別し中間処理業者へ委託している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物に混入する、木くず・紙くず(段ボール)・金属くず などを分別し廃棄物の数量抑制に努める。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で再生利用を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) 引続き再生利用を行う予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) 引続き中間処理を行う予定はない。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	（今後実施する予定の取組） 引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全 処 理 委 託 量	-	-
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	-	-
	再生利用業者への処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	-	-
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全 処 理 委 託 量	-	-
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	-	-
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度) 実績】											1/2
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト/コンクリート殻	がれき類	がれき類(石綿含有)	汚泥	汚泥(特別管理産業廃棄物)	紙屑	木屑	繊維屑	廃プラスチック類	
	排出量	518.80t	664.10t	85.70t	35.50t	144.00t	0.20t	0.90t	235.60t	0.60t	29.10t	
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト/コンクリート殻	がれき類	がれき類(石綿含有)	汚泥	汚泥(特別管理産業廃棄物)	紙屑	木屑	繊維屑	廃プラスチック類	
	排出量	518.00t	664.00t	85.00t	35.00t	144.00t	0.20t	0.90t	235.00t	0.60t	29.00t	

## 別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】										2/2
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
	排出量	240.60t	5.20t	0.003t							1960.30
	(これまでに実施した取組) ある一定量の廃棄物(廃プラスチック類・紙屑・木屑・繊維屑・廃石膏ボード)については、混合廃棄物を抑制する為、個々に分別処理を行った。 又、解体工事では、事前打ち合わせにて分別解体に努める様呼び掛けた。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	照明器具(水銀使用製品)							計
	排出量	240.00t	5.00t	0.002t							1907.90t
	(今後実施する予定の取組) 継続して、現場での一定量の廃棄物については分別化に努める。混合廃棄物については、紙・木屑を取除き管理型混合廃棄物への排出量を抑える。										

## 別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】											1/2
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト/ コンクリート殻	がれき類	がれき類 (石綿含有)	汚泥	汚泥(特別 管理産業廃 棄物	紙屑	木屑	繊維屑	廃プラスチック 類	
	全処理委託量	518.80t	664.10t	85.70t	35.50t	144.00t	0.20t	0.90t	235.60t	0.60t	29.10t	
	優良認定処理業者へ の処理委託量	0.00t	10.60t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	再生利用業者への処 理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.90t	189.70t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度) 実績】											2/2
①現状	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	照明器具 (水銀使用 製品)							計
	全処理委託量	240.60t	5.20t	0.003t							1960.30t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							10.60t
	再生利用業者への処 理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							190.60t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t

(これまでに実施した取組)  
産業廃棄物の処理については、業者選定時再生利用業者への委託を検討。

## 別紙

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

## 別紙

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】											2/2
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	照明器具 (水銀使用 製品)							計	
	全処理委託量	240.00t	5.00t	0.002t							1956.70t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	24.00t	1.00t	0.00t							197.40t	
	再生利用業者への処 理委託量	72.00t	2.00t	0.00t							588.60t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t							0.00t	
	(今後実施する予定の取組)											
	産業廃棄物の処理については、県登録の再生利用業者の委託量を上げ、継続して産業廃棄物の抑制・分別化を強化する。											